

平成4年(1992年) 5月7日(木曜日)

第6218号(日刊)

発行所
世界日報社

日韓トンネル構想を披露

【北京6日時事】中国訪問中の竹下元首相は六日午前、北京市の人民大会堂で、万里全国人民代表大会(全人代)常務委員長と約四十五分間会談した。

席上、万里氏は中国内の火力発電所から出る硫酸黄酸化物(SOX)と日本の酸性雨との因果関係を認め、たうで、「日本の先進技術を移転してもらって協力していきたい

い」と酸性雨対策に前向きな姿勢を示した。これに対し、竹下氏は「脱硫酸の面の技術は日中環境保全センターで研修もできるし、日本政府としても協力していきたい」と答へ、こうした環境面で日中協力を進めることで一致した。

また、万里氏は大連で建設中の「経済技術開発区」について「大陸の香港にしたい」と日本から

の投資を求めたのに対し、竹下氏は「日本企業に働きかけたい」と協力を約束した。

このほか、万里氏は二十五日からの日本訪問について「日中の相互理解と友好協力関係が一層推進することを希望する」と述べたが、懸案となっている天皇陛下の訪中問

題について言及しなかった。

◇

▽この日午前、北京市内で万里全国人民代表大会常務委員長と会談した竹下元首相は、「竹下先生は日中友好のため大変有意義な仕事をしてこられた」と「熱烈歓迎」を受けた。二十五日から

竹下氏、万里全人代委員長に表明

日本訪問を控えている万里氏だけに、両氏の呼吸はピッタリ。竹下氏は環境問題にうんちくを傾けていたが、突然、「今はまだ、机上のフランドが、日本と韓国をトンネルで結ぶ考え方がある」と大きな日韓トンネル構想を披露。真意は技術力の高さを示すことであつたようだが、これには気宇壮大さの本家である中国の万里氏も「そうなれば、大変素晴らしい」と驚きの表情。(北京時事)

酸性雨対策では日中協力へ